

I 目的・背景及び概念

A. 目的	7
B. 背景	8
C. 定義	10
D. 予防	12
E. リハビリテーション	13
F. 機会の均等化	15
G. 国連組織に採用された概念	18

II 現 状

A. 全般的状況	23
1. 発展途上国における障壁	24
2. 特別のグループ	25
B. 予防	27
C. リハビリテーション	29
D. 機会の均等化	31
1. 教育	31
2. 雇用	32
3. 社会問題	33
E. 障害と新しい国際経済秩序	35
F. 経済社会開発の影響	36

III 障害者に関する世界行動計画実施のための行動提案

A. 序	39
B. 国家レベルの行動	41
1. 決定過程への障害者の参加	42
2. 損傷, 能力不全及び不利の予防	43
3. リハビリテーション	44
4. 機会の均等化	46
5. コミュニティレベルの行動	50
6. 職員の養成	51
7. 情報及び大衆の教育	52
C. 国際活動	55
1. 全般	55
2. 人権	56
3. 技術及び経済協力	57
4. 情報及び大衆の教育	60
D. 調査研究	61
E. 監視と評価	64